

# 緑の募金 だより 春 2025

皆様から寄せられた大切な「緑の募金」を  
国内外での森づくり、人づくりに活用しています。



人々と森林をつなぎ、  
森林がもたらす豊かな暮らしを未来につないでいくために、  
緑の募金は、地域の人々の身近な緑化活動や  
次世代が参加する森林体験活動などの支援に、  
大切に活用されています。



企業参加で集まった社員家族による植樹（栃木県）



緑の募金

「緑の募金」の活動は、緑豊かで活力のある、  
誰もが安心して暮らせる未来をつくるために **SDGs** に貢献します！





# スポーツを通じて参加する「緑の募金」

緑豊かな環境を未来へつないでいくため、一人ひとりが森林を自分たちの共通財産と考え、それぞれの立場で森づくり活動に参加ができるよう、さまざまな企業・団体が「緑の募金」を応援してくれています。

## モンテディオ山形

プロサッカーチーム モンテディオ山形は、スポーツを通して魅力ある地域づくりを目指しています。

その一環で、緑の羽根を持ったチームマスコット「ディーオ」のピンバッジの制作協力や春と秋の「緑の募金期間」のホームスタジアム内での緑の募金ブースの設置、試合中のハーフタイムに緑の募金を観客へPRする機会を提供してくれています。また、スタジアム外でもサッカーイベント等でのPR協力、「モンテディオ山形未来の森づくり」と称し、地域の住民参加による森づくり活動も応援いただいています。



ハーフタイムにトラックを行進する緑の募金PR隊

500円以上の募金者に対して配布しているピンバッジ



グリーンリストバンド 550円  
プロ野球公式戦の開幕後は、  
随時選手等が着用する予定



## 一般社団法人 日本野球機構

日本野球機構は、「プロ野球界で地球温暖化防止」を目的に、2008年からスタートした「NPB Green Baseball Project」の一環として、試合開催球場やNPB オフィシャルオンラインショップでグリーンリストバンドを販売しています。

その売上金の一部を活用し、東日本大震災の津波で被災した海岸林(宮城県東松島市、千葉県山武市、千葉県白子町など)の再生活動や台風被災森林の早期回復・生態系保全のための植樹や体験活動への協力など、全国での緑化活動を応援いただいています。

海岸防災林の再生と水産業の環境改善を目指し、森と海の関係者らが協働で植樹活動を実施



地元のガールスカウトや林業専攻高校生が募金呼びかけやPRする緑の募金ブース

©MONTEDIO YAMAGATA



## レバンガ北海道

レバンガ北海道は、「北海道から「人」に「社会」に感動を届け、世の中を笑顔にする」という理念のもと、2023年1月末に北海道森と緑の会と連携協定を締結し、同会が推進する緑の募金及び森づくり運動に賛同いただいています。プロバスケットボールB1リーグ「レバンガ北海道」開幕節の会場に「Think Green! 緑の募金」ブースを設置して募金活動を行うほか、

富良野自然塾での植樹会へのレバンガ北海道社長とチアダンスメンバーの参加、「第73回北海道植樹祭」での選手とチームマスコットの植樹活動への参加など、チーム一丸となって緑化活動を応援いただいています。

北海道・木育フェスタ2023 第73回北海道植樹祭(厚真町)



開幕節会場での募金活動をサポート

「Think Green! 緑の募金」ブースに寄せられた「森林」や「緑」への想いメッセージ



#15 島谷怜選手と  
チームマスコットのレバードの植樹活動  
※写真提供：©LEVANGA HOKKAIDO



地元の厚真町、安平町、むかわ町をはじめ、札幌市などから約790名が参加



# 「緑の募金」の活動は、SDGsへの貢献

森と人を元気にする活動を応援!



森林の活力を支えるため、植樹や下刈り、間伐などを地域住民とボランティアの人々が一緒になって行っています。



子どもたちの野外活動での除伐作業



海岸松林の整備作業



青森県、むつ市の指定木「ヒノキ」の植栽



不良竹の伐採と搬出作業



無花粉ヒノキの植樹

森づくりのリーダーを育てる活動を応援!



持続可能な森づくりを目指し、だれでも参加できる安全で楽しい森づくりを実施するため、人材育成を行っています。



定例ワークショップでのメンテナンス作業



高校生への環境教育授業



森林ボランティア体験事業での除伐作業



チェーンソー講習



2023年度の中央事業で支援した国内での活動は、240カ所です!

にもつながります! SDGsとは、2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です。

子どもたちを育む・自然体験活動を応援!



体験を通じて「私たちの生活において、森林がいかに重要な役割を担っているのか」を知り学んでもらうことを目的に、森や里山での「体験学習」を行っています。



子どもたちの自然体験学習



園児たちの菌打ち体験



森林内の整備作業(枯葉と枝集め)



子どもたちによる樹名板設置作業

自然災害被災地の復旧や緑化を応援!



大きな被害を受けた被災地域で、防災林等の森林整備や居住地域周辺、学校周辺の緑化を行っています。



親子参加での除草作業



海岸防災林 植樹地の下草刈り



# 海外での森林保全活動を応援!

海外の森林荒廃が進む地域で、環境改善のための植樹活動や地域住民への普及啓発などを支援しています。

## マダガスカル共和国

「学校内で植樹し、樹木を育成しながら環境保全の意義を学ぶ」をテーマに、アナラマンガ地区アンバニツナ村で住民たちと10年以上の緑化運動を行い、本年からは教室での植林一般の説明から種の選別方法等までの指導、現場での苗床づくり、植樹後の管理などの実施指導を行っています。周辺の小学校の教師からもこの教育を導入したいとの声も上がっています。



マダガスカル  
Madagascar

## カンボジア王国

コンボンチャム州における「持続可能な森林管理を目指した植林事業」として、5年計画で進めている本事業も最終年を迎えています。最終年は、森林管理住民グループ、地方行政機関、小学校、寺院等と連携して、森林と生物多様性保全の重要性に関するワークショップの開催や森林管理住民グループの形成に関する支援、地域住民の持続可能な森林管理に関する知識・技術向上を図る研修等を重点に行っています。



カンボジア  
Cambodia

2023年度の中央事業で支援した海外での活動は30カ所です!



# 緑の募金で行う災害被災地への復旧支援「用途限定募金」

## あなたの思いをしっかりと被災地域へ届けます!

緑の募金では、近年多発し、甚大な被害が出ている台風や洪水、地震などの自然災害に対して、それぞれの被災地域での支援活動を実施するための「用途限定募金」を行っています。

「用途限定募金」は、2011年の東日本大震災から始まり、2016年の熊本地震、2018年の西日本豪雨、2024年の能登半島地震での復旧支援など、募金者が支援メニューから使い方を選んで募金できる制度です。

募金の活用方法は、被災地域の避難所や仮設住宅団地への木製什器の提供、防災林等の森林整備、居住地域周辺や学校周辺の緑化等の支援などを実施しています。

今後は、公共施設や居住地域周辺の緑化、近隣の森林里山の復旧、コミュニティ再生や被災者同士の交流・健康・生きがい、子どもの遊び場づくり等にも寄与できる緑化活動等への支援を考えています。

緑の募金で被災地を応援!



## 能登半島地震復旧支援



避難所に組手什を搬入・設置

仮設住宅団地への木製品と草花などの提供

組手什：間伐材等による組み立てキット。誰でも簡単に組み立てられ再利用ができる。避難所でのプライバシーの保護や生活用品の整理、救済物資の整理のための棚として活用。

## 東日本大震災復興支援



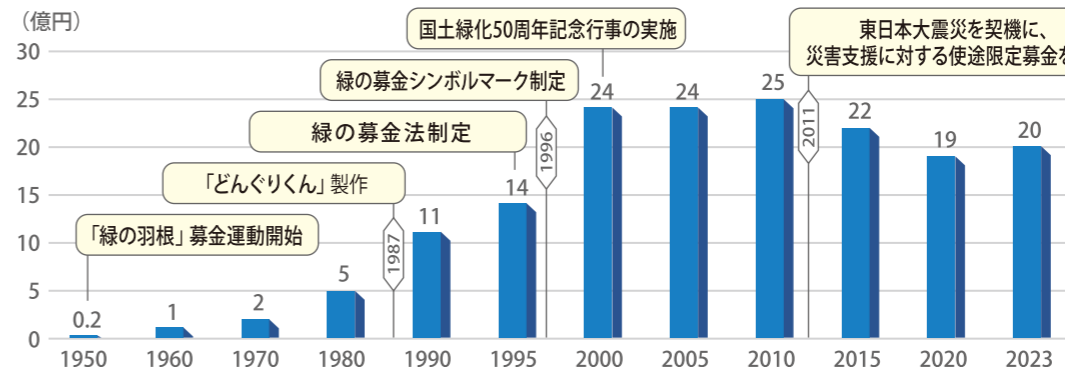
東日本大震災の教訓を伝える桜ラインの植樹

約170kmに及ぶ津波到達ラインにサクラ等の木々を植樹し、災害を後世に伝えると同時に、防災、減災についての意識喚起を目的とした事業。

# 「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」制定30周年

1950年に国土緑化運動のシンボルとしてスタートした「緑の羽根募金」をさらに発展させ、国民の皆様の理解と自発的な協力のもと人類共通の財産である森林や緑を守り育てる具体的な活動の一層の推進を図るため、1995年に「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」(緑の募金法)が制定・施行され、今年で30年となります。

## これまでの歩みと緑の募金の実績



# 「緑の募金」は、さまざまな参加方法により実施しています!

家庭募金 街頭募金 職場募金 企業募金 学校募金 など

※募金活動は、感染症対策を適切に実施しつつ行っています。



より一人でも多くの人に参加してもらえるように、  
日々の生活の中で参加、協力ができるさまざまな方法により実施しています。

## コンビニやスーパーのレジ横で!

レジの横に緑の募金へ協力をする募金箱が置かれています。



写真提供: 株式会社ローソン 株式会社ファミリーマート

## 自動販売機で!



緑の募金寄付型自動販売機は、販売額の一定割合が募金にあてられます。

写真提供: ダイードリンク株式会社

## スマホの決済アプリで!



みずほ銀行や全国の地方銀行が提携する J-CoinPay、メルペイ残高を利用して寄付ができる「メルカリ寄付」からも募金が行えます。

## 寄付金付き商品で!



寄付金付き商品を購入すると、その販売価格の一部が募金にあてられます。食品、衣料品、家電製品、出版物、日用品など協賛商品は多岐にわたります。

写真提供: 株式会社 神戸酒心館

## あなたの周りにある品物で!

あなたの周りにある物品を査定して、その査定額が募金になります。



提供: お宝エイド® 買取大吉

## イベント会場やチャリティーグッズで!



イベント会場等に設置された「緑の募金ブース」での募金箱や募金グッズで緑の募金に参加できます。

協力: 長谷川町子美術館  
写真: みどりりとふれあうフェスティバル会場 (高尾599ミュージアム)

## カード類で!

クレジットカードの利用ポイント、クオ・カードの購入額の一部が募金となります。



写真提供: ENEOS 株式会社 株式会社クオカード

## 身近に常設された募金箱で!



様々な公共施設や協力いただいている会社の職場に「緑の募金」の募金箱が置かれています。

写真: 上野動物園内に設置されている巨大「どんぐりくん募金箱」

ご協力  
ありがとうございます!

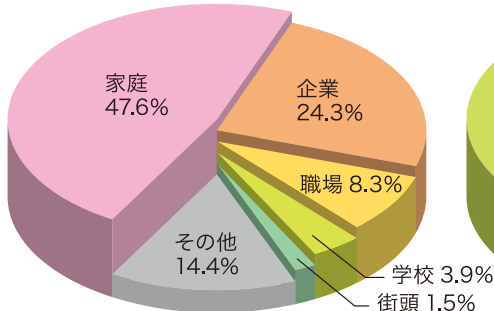


## 緑の募金 2024年

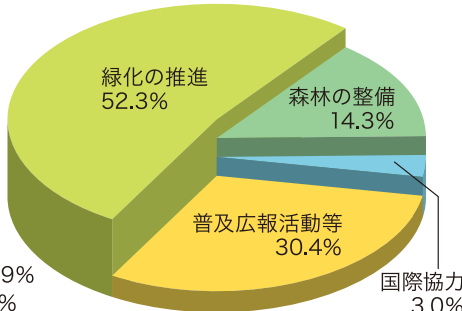
2024年に皆様から寄せられた「緑の募金」は、約20億円になりました。

緑の募金 は、中央募金と地方募金とで構成され、国内外の森づくり・人づくりに活用されています。

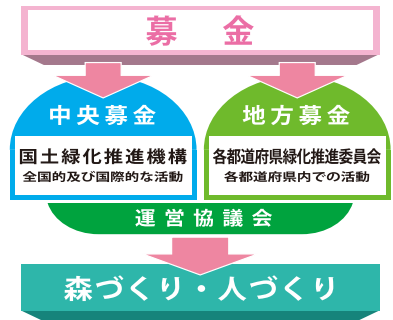
### ご協力いただいた分野



### 緑の募金の用途



### 募金のながれ



「緑の募金」にご協力をお願いします

春の新緑シーズン(1~5月)と秋の紅葉シーズン(9~10月)を中心に行われています。



緑の募金

公益社団法人  
**国土緑化推進機構**

National Land Afforestation Promotion Organization

0120-110-381

ホームページアドレス <https://www.green.or.jp/>

電子メールアドレス [bokin@green.or.jp](mailto:bokin@green.or.jp)

詳しくは緑の募金ホームページをご覧ください。



〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4 砂防会館別館 5 階